

自敬寺寺報

# 曉雲

No.106

発行所 自敬寺  
発行人 服部隆志  
〒532-0006  
大阪市淀川区  
西三国2-12-43  
TEL06-6391-5348  
FAX06-6391-4567  
jikeiji392@gol.com  
<https://www.jikeiji.com>

## お施餓鬼のお知らせ

謹啓、小暑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。ワクチン接種が始まり長いトンネルの出口が見えてきたように思えます。

毎年恒例の施餓鬼会は今年も以下の対策を講じて開催いたします。どうぞご参詣下さいますようご案内いたします。

記 合掌

### 七月十五(木)

### 午後二時～三時半



○ 二時～お施餓鬼法要(戒名奉読)

○ 三時 法話

○ 同封の戒名用紙をお持ちください。修正加筆してください。



### お施餓鬼法要開催にあたっての主な対策

換気・消毒・座席間を広げ、時間短縮、随時焼香の対策を講じますので、以下の方法でご参詣下さい。

- 法要の時間内に参詣し、焼香をしてお帰りになる
- 法要の前や事前に受付けを済ませ、法要には参加しない
- いつもどおり法要に参加する等。(途中の入退室も自由にできます)
- ・ 来られる方にはマスク着用をお願いしています。お寺でも用意しております。
- ・ 発熱・咳など風邪症状のある方、体調の悪い方の参詣はご遠慮ください。



### 「お施餓鬼法要の内容」

- 亡くなられた方々を供養します。
- 飢えや争い恨みなど苦しみの世界に落ちている霊を供養します。
- 戦争、災害、事故、犯罪等、不慮の死を遂げられた霊の冥福を祈ります。
- 供養の功德を極楽浄土におられる皆様の先祖に振り替え捧げます。
- 餓鬼壇・お塔婆に聖水を注ぎ、施餓鬼の真言(マントラ)を唱えます。
- ご供養を志す皆様とご関係の皆様の長寿とお幸せを祈念します。
- 新型コロナウイルス犠牲者を悼(いた)み、状況の改善と不安の解消を願い、見えぬ不安を取り除く法要といたします。

多寶如来 奉修 施餓鬼法要 東向山 自敬寺  
寶勝如来 妙色身如来 廣博身如来 難怖畏如来 甘露王如来 阿弥陀如来

當家先祖代々 頓生菩提

病氣平癒・無病息災・人心安寧

●同封の施餓鬼札は病氣平癒・無病息災・人心安寧の願いを込めて作成しました。仏壇やタンスの上などに置いてくだされば有難いです。一定期間が過ぎれば、お寺の「お札入れ」に入れても構いません。

# おせがきの由来

● 「餓鬼に施す」と書いて施餓鬼。

● 主人公阿難尊者(アーナンダ)は釈迦二大弟



子の一人、お釈迦さまに生涯付き従い多聞第一と言われ經典編纂の中心人物。仏教初代はブツダ(お釈迦さま)二代目は摩訶迦葉尊者(マハカッサバ)、そして阿難。

● 阿難が夜坐禅中「餓鬼」が現れ飲食の施しを乞いました。聞き入れなければ我らの仲間にする！と脅したのです。餓鬼とは強欲で嫉妬深くすぐ怒り、優秀でも智慧の無い人の事で、子どもの事ではありません。

● その餓鬼が貪(むさぼり)瞋(いかり)痴(おろか)の三毒に心を奪われた時、欲深になり、暴言を吐き、暴力をふるい、悪態をつきます。餓鬼は我が内より生ずです。

● 驚いた阿難はお釈迦様に教えを乞いました。釈迦は「一碗の食べ物供養でも、その布施の心は無量の食べ物となり、餓鬼はもとより供養もされない一切の生けるものも救うことが出来る」と説かれ、阿難は供養を行い餓鬼を救いました。

● これが施餓鬼法要の始まった由縁です。そして法要の功德が私達のご先祖にまで届き、更に三界萬霊の諸靈までも救われますように、と施餓鬼では塔婆回向(とうばえこう)を行い祈願文を唱えています。

● 古来インドでは布施する人をダーナ、漢字に音写され檀那と書きます。日本では家族を養う人を旦那さま、布施をしてくださるお宅を檀家さん、西洋ではドナー(提供者)の語源となりました。

この新聞は再生紙を使っています

## おかげさまで有難うございます 本堂建設資金 会計報告(5ヶ年計画 本年未終了) コロナ禍につき延長しています、まだ借入金がございますので引き続き募募を続けています。

自敬寺開創300年記念に本堂新築の誓願を立ててからすでに8年、竣工から4年が過ぎました。御寄進の総合計が8,226万円になり、勸募目標額10,000万円に対し**達成率が82.267%**になりました。当初5年計画の勸募期間でしたがコロナ禍につき1年延長し、今年末で区切りとさせていただきます。大勢の方から浄財を賜れたことに感謝しています。現在もエッチングガラス、灯籠、過去帳位牌、貯金箱、写経をお納めいただいています。毎月お振込みくださる方もおられます。ご寄進頂いた全員のご芳名を本堂に掲載しています。どうぞよろしくお願いたします。

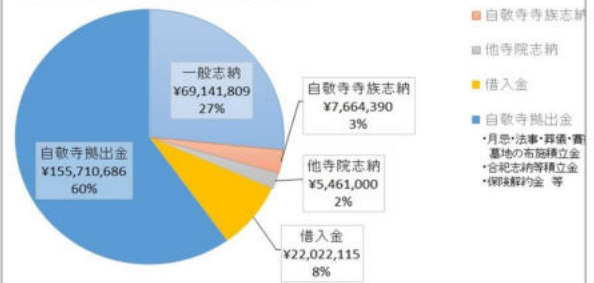
尚、土地・本堂・庫裏すべて法人登記を済ませています。以上ご報告いたします。

自敬寺住職 九拜

2021/6/17

	金額	件数
志納金合計	¥75,808,084	944人
奉納写経合計	¥4,032,000	3820枚
喜捨箱合計	¥2,427,115	495人
合計	¥82,267,199	
目標金額	¥100,000,000	
達成率	82.267%	

総工費の内訳 (26,000万円)  
(建設費、設計費、税金、登記費用等、土地購入費)



ガラスエッチング☆合計100万円以上  
(灯籠・過去帳位牌含む)



吊り灯籠(限定50基)☆合計50万円以上  
(過去帳位牌含む)



過去帳位牌 ☆30万円  
戒名記載します



☆りそな銀行 三国支店 口座名(宗)自敬寺 普通 0159384  
☆ゆうちょ銀行 口座名 自敬寺 記号14000 番号49640451



## 特集コラム 「三国」の地名の由来

三国の名は『続日本紀』に出てくる。延暦四年(七八五)に「使を遣わして、摂津国の神下、梓江、鯨生野を掘りて、三国川に通ぜしむ」とある。

桓武天皇は七八四年、都を平城京から長岡京に移した。『続日本紀』の記述は淀川を現在の東淀川区の江口・別府付近で三国川(現神崎川)に分流させる大工事が行われたことを表している。この工事の結果、瀬戸内海から難波津(旧淀川)を経由することなく、川底が深く大型船の運航が可能な三国川を経て物資を運び出すようになった。八世紀には三国川の記述はあるが、河川名の由来はわからない。

同じく『続日本紀』に「水陸便ありて都を長岡に建つ」(延暦七年)とある。長岡京造営の起点になる山崎橋架設のため阿波・讃岐・伊予の三ヶ国から三国川を経て資材を調達したのであった。淀川が京都・琵琶湖を源としているのに対し、三国川は丹波国(亀岡付近)を水源とし、山城国(京都南部)を経由し、摂津国(大阪北部)から大阪湾に至っている。三国川は戦国時代以降、江口以南を神崎川と呼ぶようになった。江口は河川交通の要所であり「天下第一の楽地」と呼ばれ、神崎川・猪名川・藻川の合流点の神崎宿と共に大いに賑わった。

- ① 阿波・讃岐・伊予の三ヶ国の説
  - ② 丹波・山城・摂津の三ヶ国の説
  - ③ 現三国駅北の神崎川対岸の小字名 三国島の説等がある。
- 皆さんはどう思われますか？

明治四三年、箕面有馬電気軌道(現阪急宝塚本線)が開設され、駅名を神崎川の旧名から「三国駅」と名付けられた。三国という地名は駅名から始まった。因みに戦後まで自敬寺の町名は三国町であった。 文責 住職

参考資料：新修大阪市史・西成郡史等  
西三国地区「かわら版」掲載文より転載



開設当初の三国駅は路面電車、現駅南200m付近写真は、十八条・蒲田村郷土史研究会報告書2より

## えいたいくよう こうしぶつとう 永代供養 合祀仏塔

(お釈迦さまに抱かれて)

- 永代位牌が本堂に祀られます
- 芳名板にお名前が刻まれます
- 過去帳に記載日課供養します
- 縁者がなくても供養されます
- 生前依頼は現在五十二名です
- 維持費・管理料はいりません
- 墓を整理して合祀される方も
- ご遺骨はお釈迦様の蓮台の下に土に帰るよう埋葬されます
- 施餓鬼・彼岸に全員の塔婆供養
- 永代志納金三十万円のみ必要です

### 編集後記

- ワクチンいつ? が日常会話に、私は2回目
- 古井戸を改修、きれいな水が湧きだしています。災害時には役立つと思います。
- 妹の手作りマスクが好評、すでに三千枚作製。材料費だけ頂いています。
- 奉納写経がついに富士山3776超え! 枚数のことですが、目標五千枚です。
- 本堂竣工から四年、門前の細い道の拡幅を待っていたら十年先になっていた。あの時決断してよかったです。
- 自敬寺のコンセプト(活動方針)は社会参加する寺院。広く門戸を開放。その原点は護持会です。皆様から賜っています。護持会費は様々な活動につながっています。経費節約のため受領書を同封しています。ご査収ください。
- コロナ禍なので細々と活動中。

住職 九拜





☆すべての行事はお隣との間隔を極力広く開けております。  
 ☆マスク着用（お寺にも用意あり）体調の悪い方はご遠慮ください

**お盆の法要の予定(申込不要です。ご希望の時間にお越しください。各45分程度)**

日	朝	昼	午後	夕方
8月13日(金)	9時～	11時～	13時～	17時～
8月14日(土)	9時～	11時～	13時～	17時～
8月15日(日)	9時～	11時～	※今年も法要回数を増やしています	

**歩こう会** 護持会主催

行先：桃が池公園の蓮

日時：7月6日(火)

10時半出発

集合：御堂筋線 梅田駅 ホーム内  
 進行方向前から4両目 自動販売機付近

持物：交通費・マスク・お弁当

備考：申込不要 行先変更有

9月7日(火) 今宮戎・廣田神社を予定



**「仏画教室」**

・7月9日(金)

14時～15時半

・講師：久保田聖淳先生  
 (仏尚美術会会長)

・月に1度開催(8月は未定)

・会場：自敬寺 ・会費：2,000円



**「坐禅の会」**

・7月4日(日)

・8月1日(日)

16時～17時半



**大乘のマインドフルネス入門「小止観を学ぶ」**

楽しく心を静める方法を「天台小止観」を題材に大乘仏教のマインドフルネスの実践を学びます。

・日時：7月17日(土) 17時～18時半

・会場：自敬寺・申込不要

・会費：1,000円(資料代を含む)

・講師 林侃道師 姫路市 常福寺住職



**「写経の会」**

・7月8日(木)

・8月8日(日)

14時～15時



本堂一階のバザーコーナーでは、東北・熊本被災地生活応援商品・地域の施設の物品・国際協力の物品を用意しています。また創作作品や仏画も展示しています。好評の寺族の手作りマスクもあり。



**集めてます・使用済み切手・未使用切手**

・書損じハガキ・文房具・着物・帯・小物(帯締め等)・雨具(カップ・男性用傘)

・男性用衣類(下着靴下は新品を)

・リュック・寝袋・ベルマーク

・ライター・(スーツは不可)



護持会ではAEDを設置しています。簡単かつ安全に救命処置を行う器具です。



すず虫が羽化しました。飼ってみませんか？



**ペットの供養塔 やすらぎの碑**

○詳しくはお尋ねください。

☆彼岸中日に合同供養実施



**「自敬寺ホームページ」は**

<https://www.jikeiji.com/>

「自敬寺」で検索出来ます

右のQRコードでも読み取れます

